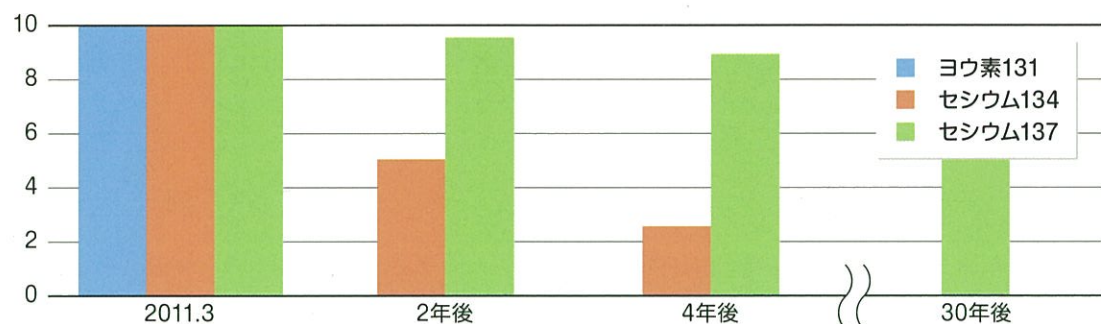


放射性物質

放射性物質には放射線を放出し時間とともに崩壊（自然減衰）する性質があり、半分になる期間を半減期と言います。半減期は放射性物質により大きく異なり、例えば、ヨウ素131は約8日と短いことから、速やかに減少し現在は無くなりましたが、セシウム134とセシウム137は残っているものの徐々に減少しています。

放射性物質	ヨウ素131	セシウム134	セシウム137
半減期（半分になるまでの期間）	約8日	約2年	約30年

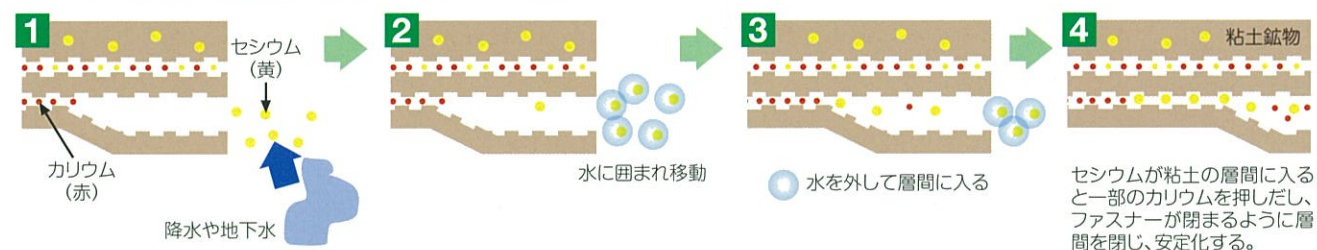


※事故直後の量を10として表示

セシウムの性質

- 土壌中のセシウムはカリウムと似た性質を持っており、植物が吸収する際に競合することから、カリウムがあるとセシウムの吸収が抑えられます。そのため、セシウムの吸収抑制のために畑へカリウムを施肥するのです。
- 水に溶けたセシウムは土の粘土分に吸着され留まるほか、一部の粘土分には植物が吸収できないほど強固に固定化される状態となります。

《セシウムが土の粘土分に結びつくイメージ図》



お問い合わせは お近くの農林事務所 農業振興普及部・農業普及所まで

《県北農林事務所》
 農業振興普及部 ☎024-535-0452
 伊達農業普及所 ☎024-575-3181
 安達農業普及所 ☎0243-22-1127

《県南農林事務所》
 農業振興普及部 ☎0248-23-1563
 《会津農林事務所》
 農業振興普及部 ☎0242-29-5308
 喜多方農業普及所 ☎0241-24-5742
 会津坂下農業普及所 ☎0242-83-2112

《相双農林事務所》
 農業振興普及部 ☎0244-26-1151
 双葉農業普及所 ☎0240-23-6474
 《いわき農林事務所》
 農業振興普及部 ☎0246-24-6161

《県中農林事務所》
 農業振興普及部 ☎024-935-1310
 田村農業普及所 ☎0247-62-3113
 須賀川農業普及所 ☎0248-75-2181

《南会津農林事務所》
 農業振興普及部 ☎0241-62-5264



帰還し営農を再開される農家の皆様へ

原発事故により環境中に放出された放射性物質による空間線量率 ($\mu\text{Sv/h}$) は、これまで実施した除染の効果や放射性物質の自然減衰により、事故直後に比べてかなり低くなりました。

放射線の特徴などを知って、安心して農作業を行いましょう。

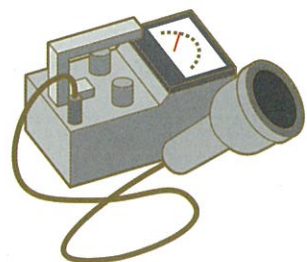
福島県

放射線の特徴と対策

1 放射線は目に見えず、臭いもなく、私たちが五感で感じることはできません。

ポイント 放射線は測定器を使えば、放射線が身のまわりにあることや線量などを知ることができます。

安心ヒント 作業場となる農地の放射線を空間線量計などで測定し、線量を確認しておきましょう。地域の大まかな放射線量は、環境省や市町村のホームページ、新聞などで知ることができます。



2 放射線は放射性物質（セシウムなど）から離れるほど弱くなります。

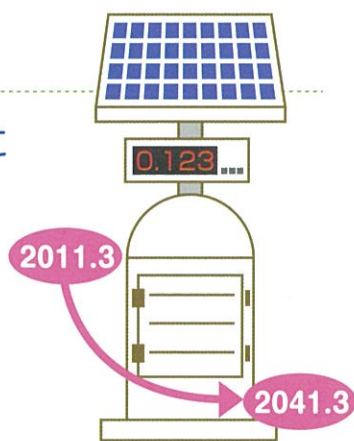
ポイント 雨水が集まる場所などには、放射性物質（セシウムなど）が集まりやすく、ホットスポット（局所的に放射線量が高い所）ができることがあります。

安心ヒント 放射性物質（セシウムなど）が集まりやすいところ（例：雨水が集まるようなところ）を避けて休憩しましょう。

3 放射線は時間の経過とともに減っていきます。

ポイント 放射性物質（セシウムなど）の自然減衰や雨などによって流された影響です。

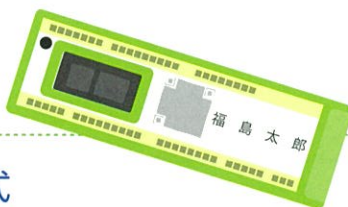
安心ヒント 例えば事故後30年の空間線量率が、自然減衰だけで、事故当時から比べると約70%程下がります。場所にもよりますが、風雨の影響や除染によりさらに低下すると見込まれています。



4 放射線の影響を測定機器で確認することにより、健康管理につなげることができます。

ポイント 外部被ばく線量は、ガラスバッジ式線量計や電子式ポケット線量計などで確認できます。内部被ばく線量は、ホールボディカウンタで確認できます。

安心ヒント ガラスバッジ式線量計や電子式ポケット線量計の配布・借用については、市町村に御確認ください。ホールボディカウンタ検査は、積極的に受検しましょう。



農作業で気をつけること ~追加被ばくを小さくするには~



- 農作業時は、農業機械による事故や熱中症などに十分注意する。
- 土の中の放射性セシウムは、除染で大部分は取り除かれていますが、土に触れる機会の多い農作業を長時間行う際には、追加被ばくを小さくする工夫も必要です。



1 農作業を行うときは、なるべく長袖、長ズボン、マスク等を着用しましょう。

安心ヒント 事故前と変わらない服装ですが、土ぼこりが舞う作業の時はマスクを着用します。安全な着装での作業習慣は農薬散布時の着装にも応用できます。

2 土ぼこりがたつ所での飲食や喫煙を避けましょう。

安心ヒント 土ぼこりの中にはセシウムの他にいろいろな雑菌なども混じっており、追加被ばく軽減だけでなく衛生面からも有効です。

3 外での作業が終わった後は、チリやホコリを室内に持ち込まないように服を着替えましょう。

安心ヒント 農機具に付いた土や泥も農作業現場で落とせば、セシウムを室内（保管庫）に持ち込まない対策にもなります。



4 農作業後は、手足や顔など露出していた部分を良く洗い、うがいもしっかり行いましょう。

安心ヒント 手足や顔についた土やホコリを流し落とすことで、セシウム等を落とすことができます。

5 汚れた作業服などは、洗濯して清潔に保ちましょう。

安心ヒント セシウムは洗濯することで、泥汚れと一緒に落とせます。作業服についた泥は少量のため、家庭で洗濯することができます。

